

補助事業番号 21-2-005

補助事業名 平成21年度

子どものためのセーフティネット「チャイルドライン」強化補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 チャイルドライン支援センター

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

虐待を未然に防ぐ子どもと大人に向けたキャンペーン活動、電話を受けるボランティアがSOSを確実につかむスキルを磨くための研修強化、そして、チャイルドラインが実施されない空白県へのチャイルドラインの設立促進や運営力の弱いチャイルドラインの基盤強化を行いもって社会福祉の増進につとめることを目的とする

### (2) 実施内容

#### ①虐待防止啓発キャンペーン事業

- ・啓発イベントの開催：全国29会場にて各界著名人110名からの、子どもたち、大人たちの心温まるメッセージの展示、来場者に冊子の配布、子どもたちには風船の配布を行った。来場者は全国で焼く4万7000人。
- ・年次レポートの作成：子どもたちから電話で寄せられた年間の悩みの実態をまとめたレポートを4000部作成、子どもに関わる活動を展開する民間団体・個人、児童相談所、虐待防止センター、省庁、企業、学校等に配布を行った。2008年度の活動報告とともに、チャイルドラインの活動が10年を迎え、10年のあゆみを年次報告としてまとめた。

#### ②虐待早期発見強化研修事業

- ・全国フォーラム開催：子どもに関する市民団体、行政、企業等々の各地での連携について、また全国の子どもの実態を持ち寄り、子どもがよりよく生きられる環境づくりを考えるフォーラムを開催した。2日間の開催で、のべ1021名の参加があり、開催地の千葉県の行政、企業、市民団体と連携した、フォーラムとすることができた。
- ・地域研修：全国6箇所、下記の2つのテーマについて年間2回わたって研修を実施した。
  - ①虐待に気付くサインとそれへの対応、他機関との連携にあたるスキルの向上
  - ②虐待を発見するための電話を受けるスキルの向上1回目は全国共通のテーマ「緊急対応～見極める力、聴く力」と題した研修を行った。じっくり考え、深めることが出来た等、充実した研修であったことが感じられる感想が多く寄せられた。2回目の研修ではそれぞれの地域での現場からの声を元に①、②の目的が達成できるよう考慮し、テーマを選定して実施した。全国でのべ350名の参加があり、参加者が研修の内容を持ち帰り、自団体での研修に生かせるような形をとったので、研修の成果は参加者からさらに多くの人に広げることができた。
- ・テキスト編集・地域研修のための研修担当者会議  
各地のチャイルドラインで研修を担当している担当者が集まり、どのようなプログラムが有効か、具体的なプログラムを持ち寄り、研修内容の統一構築に向けての会議を行った。各地の取り組みを具体的に出しあい、情報交換を行い、そこから議論を発展させ、よりよい研修内容の検討を行い、会議で検討した内容は、研修テキストの編集に役立てた。

## 2. 予想される事業実施効果

絵馬展に協力くださった方が、自らの活動を語る時にこの取り組みを紹介して下さるなど、来場者はもちろん、ご協力をくださる著名人の方々にも活動が浸透してきていると感じる。来場者から作者の方への感想やメッセージを会期終了後に、作者の方にお送りしている。著名人の方々のご協力くださることで、一般の方たちへの影響力が強いことは以前から感じていたが、来場者からの声の中にも、素晴らしいメッセージは数多くあり、協力者と来場者の橋渡しを行う中で、双方にとっての影響力がある取り組みであると感じている。絵馬へのメッセージだけではなく、協力者と来場者双方を巻き込んでいける可能性のある事業であると考えます。

全国のチャイルドライン関係者並びに広く一般の方たちに参加していただいたの全国フォーラムでは、市民団体・行政・企業等々の連携について、また全国の子どもの実態について、共有し、子どもがよりよく生きることができる環境づくりについて、考え深めることができた。それぞれが各地での取り組みに生かしていくことを期待したい。

地域研修では、参加者が自団体での研修に生かせるように配慮した形をとった。全国で350名ほどの参加があったが、参加者がさらに成果を地域に戻り、広げてくれるものと考えます。

研修テキストは電話を受けるために必要なスキルを身につけるための研修の統一化を目指すことで、各チャイルドラインの底上げと、よりよい研修プログラム構築をするための一助となるものとなった。研修については、今後も改良を加え、スキルアップを図ってきたい。

虐待防止啓発キャンペーンでは子ども自身にもSOSを発していいのだというメッセージを伝えると共に、①②の事業を通して、子どもに寄り添う大人を増やす働きかけをすることができ、虐待防止に効果を発揮していくものと考えます。

## 3. 本事業により作成した印刷物等

### ①虐待防止啓発キャンペーン事業

キャンペーンチラシ：8万部

キャンペーン冊子：3000部

キャンペーン風船：20000個

年次レポート：4000部

全国フォーラムチラシ：2万部＋手刷り印刷

全国フォーラム当日パンフレット：1500部

全国フォーラム報告集：2000部

### ②虐待早期発見強化研修事業

研修テキスト：1000部

## 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

住所： 162-0065

東京都新宿区住吉町8-5 曙橋コーポ2階

代表者： 代表理事 清川 輝基（ダイヒョウリジ キョカワテルモト）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 事務局長 加藤志保（ジムキョクチョウ カトウシホ）

電話番号： 03-5312-1886

F A X : 03-5312-1887

E-mail : [info@childline.or.jp](mailto:info@childline.or.jp)

URL : <http://www.childline.or.jp>